

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業所りあんぴーすⅡ			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アットホームな雰囲気職員・利用者・ご家族の距離が近いこと。	職員間では支援の事だけではなく世間話等もすることで風通しの良い職場環境になるよう心がけている。また、年齢や経験にとらわれず意見することで新しい視点での支援や職員それぞれの考えの共有を図っている。 ご家族とも信頼関係を第一に支援させていただいている。	利用者・ご家族とのさらなる信頼関係を築けるように日々の支援や送迎時のやり取りを意識していく。
2	送迎に出ている学校が1つな為顔見知りの利用者が多く関係を築きやすい。	送迎時の学校とのやり取りやご家族からの情報等から利用者同士の関係性や相性を考え支援している。	顔見知りの友達をきっかけに利用者のコミュニティが広がるように支援していく。
3	小学生から高校卒業まで見せていただいているため利用者やそのご家族と信頼関係が築けている。	長い利用者さんでは12年間利用することがあるため、先を見据えたスモールステップの支援を心掛けている。また、ご家族にもその旨をお伝えして長期的な目線での関わりができるよう支援している。	利用者・ご家族とのさらなる信頼関係を築けるように日々の支援や送迎時のやり取りを意識していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障害の程度が重めな利用者が多く活動が制限されやすい。	強度行動障害児や他害等の利用者が多いため外出場所が制限されることが多い。また、集団活動が苦手な利用者も多いためマンツーマンでの対応が必要な場合がある。	部屋の構造化や関係づくりを意識しながら支援していく。
2	部屋が狭く十分な支援が出来ないケースがある。	障害の程度と部屋の広さが合っていない日がある。パーティション等により仕切ることもあるが倒してしまう利用者もいるため改善が必要。	利用者が落ち着ける環境作りをする。部屋が狭いことで利用者との距離が近く変化にすぐ気づける利点もある。
3	利用者の特性や相性等から定員に満たないことがある。	強度行動障害児や他害等の利用者が多く、定員の人数を取ると怪我等の危険が考えられる。また、マンツーマンでの対応が必要な利用者も多く、職員の数が足りず危険なケースも想定できる。	利用者の理解をしながら落ち着ける環境を設定し支援する。 職員のスキルアップをしてより良い支援に繋げていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障害児通所支援事業所りあんびーすⅡ

公表日 年月日 令和7年3月28日

利用児童数 13名

回収数 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2				
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	2		現在そのような会はないが必要と感じていない。	ご意見ありがとうございます。今後保護者様同士の交流やイベント等検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R7 年 3 月 28 日				
障害児通所支援事業所りあんびーすⅡ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		法令に遵守したスペースを確保しているが強度行動障害児等の対応のためにも広いスペースがあると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		人員配置は適正だが、強度行動障害児等の対応については職員の増員を検討したい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		室内や廊下などに手すりの設置を検討していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃とアルコール消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		部屋数は限られているが、パーテーションなどを使って活動を行っている。	パーテーションだけでは難しいこともあり、クールダウン用のスペースの確保を検討中。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		適宜職員間で話し合いをしながら支援の統一をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からのご意見や、それに対する回答をお便りで知らせている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		適宜職員間で話し合いをしながら支援の統一をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価の導入を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の募集の周知や事業所内での研修を設けスキルアップに努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		支援プログラムは作成したが、公表までには至っていない
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的に全職員による支援会議を開催し適切な支援の検討をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員で話し合いを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員に周知している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映、設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの目的や当日の子どもの人数などに合わせ職員の役割などを話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者の特性等に配慮しながら飽きないように工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		1人1人の発達に応じ、個別と集団活動を支援計画にしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日行っている。送迎等により時間が取れない場合には翌日の午前中に話し合いを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用者の退所後に記録を取り、気になった点について話し合いを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ね6か月に1度、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に管理者、児童発達支援管理責任者が出席している。会議前には全職員で情報共有を図っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関との連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時の情報共有を大切にしている。また、学校への見学会などの機会を利用している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		事業所へ見学に行かせていただき情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		要望があれば、情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		センター機能の情報収集をしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		保護者様から要望があれば、検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談だけではなく送迎時やノート等で日々の様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		保護者様から要望があれば研修の機会や情報提供を行ってきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用者負担額は単位や加算などわかりにくい為周知方法の検討が必要。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会の開催を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明を行っている。	迅速な対応に努めていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		提示物や配布物の中に個人情報が含まれてないよう配慮していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		特に行っていないため、検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様に健康状態の記入や聞き取りを行っている。	職員間で定期的に服薬について情報共有を行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険な事例があった場合は報告書に記載し、ミーティングを通じて職員で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止・身体拘束についての研修は確保している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			